



TITLE:

イシガケチョウ(鱗翅目)が和歌山県  
白浜町に所在する京都大学瀬戸臨  
海実験所"北浜"で塩分補給

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. イシガケチョウ(鱗翅目)が和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所"北浜"で塩分補給. KINOKUNI 2017, 91: 15-15

ISSUE DATE:

2017-08-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/227014>

RIGHT:

発行元の許可を得て登録しています.

# イシガケチョウ（鱗翅目）が和歌山県白浜町に所在 する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”で塩分補給

Supply of salt by *Cyrestis thyodamas* (Lepidoptera) at “Kitahama”  
beach, Kyoto University, Shirahama Town, Wakayama, Japan

久保田 信

和歌山県白浜町に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”において、毎日の様に定点調査をしても、チョウ類が塩分吸水行動を見せる場面に年に数度も遭遇することはない。これまでは、モンキアゲハ（久保田, 2011a）、セセリチョウの一種（久保田, 2011b, 2015b）、アオスジアゲハ（久保田, 2012a, b, 2015b）、タテハチョウ科の一種（久保田, 2015a）の吸水行動が記録できた。

今回、タテハチョウ科のイシガケチョウ *Cyrestis thyodamas* の翅の全く傷んでいない個体が海水を吸水したので報告する。

イシガケチョウの1頭は、2017年5月22日7時31分、京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”の潮間帯の砂礫上で、約1分の短時間の吸水を行った（図1）。

その間、翅を開閉させていた。この日の数日前から“北浜”の波打ち際付近を飛翔する本種を数度目撃したが、浜に降りることはしなかった。



図1 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”の潮間帯の砂礫上で塩分補給するイシガケチョウ

## 引用文献

- 久保田 信. 2011a. モンキアゲハ（チョウ目、アゲハチョウ科）の塩分補給. KINOKUNI, (79) : 15.  
久保田 信. 2011b. セセリチョウの一種（チョウ目、セセリチョウ亜科）の塩分補給. KINOKUNI, (80) : 15.  
久保田 信. 2012a. アオスジアゲハ（チョウ目、アゲハチョウ科）の塩分補給. KINOKUNI, (81) : 12.  
久保田 信. 2012b. アオスジアゲハ（チョウ目、アゲハチョウ科）の塩分補給を再度確認. KINOKUNI, (82) : 14.  
久保田 信. 2015a. タテハチョウ科の一種の塩分補給. くろしお, (34) : 54.  
久保田 信. 2015b. アオスジアゲハとセセリチョウ科の一種（チョウ目）の塩分補給（2015年）. KINOKUNI, (82) : 19  
（くぼた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）